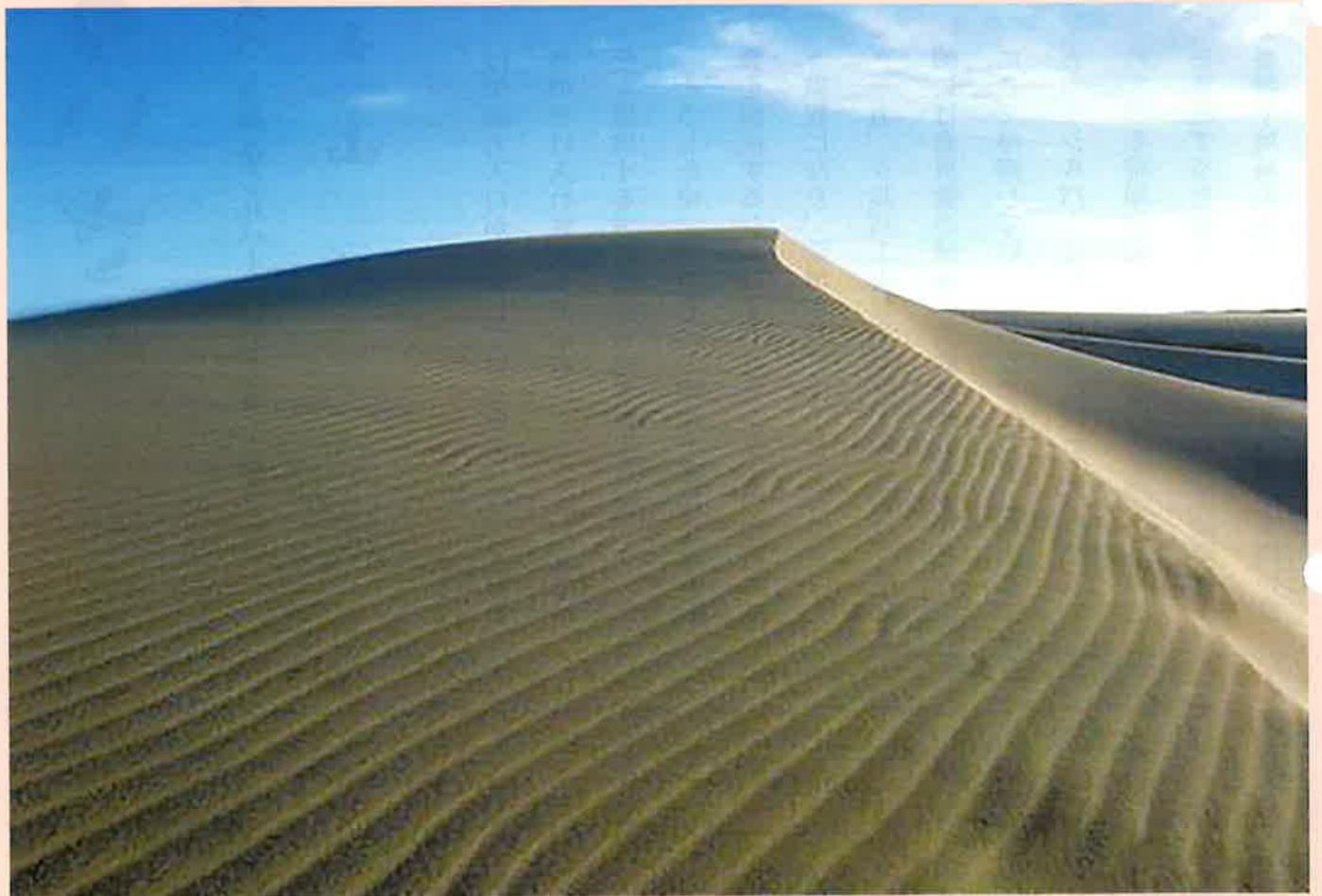


# 鳥取 会 報

第 33 号

2019年 1月



鳥 取 砂 丘

表紙	1	シルバー人材センターの紹介	16~17	
目	新年の挨拶 (連合会会長)	2	会員のひろば (鳥取市、智頭町)	18~19
	新年の挨拶 (鳥取労働局長)	3	趣味のひとつ (米子広域、琴浦町)	20~21
次	理事長、会長の抱負	4~10	講習会に参加して	22~23
	平成30年度事業実施状況	11~13	正会員名簿・あとがき (裏表紙)	24
	高齢者活躍人材育成事業実施状況	14~15		

# 新年のごあいさつ



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 山 脇 誠

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。連合会の運営にあたりましては、ご協力とご支援をいただき感謝申し上げます。

また、行政をはじめ関係機関の皆様には、シルバー事業にご理解とご指導を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、少子・高齢社会が進行していく中で労働力不足は益々深刻になっております。鳥取県においても、有効求人倍率が、1・64倍（平成三十年九月）と高水準で推移し、業種によっては人手が足りない状況が起こっております。国

は労働力人口が減少している中で、外国人労働者の受け入れ拡大や高齢者により多くの就業機会を提供する方針を打ち出されました。

そうした中、それぞれの地域で多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は益々重要になり、期待されているところです。

一方、シルバー人材センターの現状は、全国的には会員数の減少や契約金額の減少などここに来て停滞しているということです。高齢者にとつてシルバーは魅力ある組織かどうかが問われている時期に來ていると思えます。この状況を克服するために、今一度、シルバーは時代の要請や地域の期待に応えられているかを問う直

し、会員のみなさまとともに魅力あるシルバーを目指して行きたいと思えます。

この一年が、関係者の皆様にとつて明るくいなりますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。

# 慶春



# 新年のご挨拶



鳥取労働局長

丸山陽一

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また、私共鳥取労働局の行政運営につきまして格別のご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年は、六月の大阪北部地震、七月の西日本豪雨や相次ぐ台風の上陸、九月の北海道胆振東部地震の発生など、鳥取県内も含め、多くの災害に見舞われた年でありました。一連の災害により被災された皆様へお見舞い申し上げます。

県内の災害被害に伴う雇用への影響は落ち着きつつあるものの、今後も注視が必要と考えています。県内企業の人材確保は年々困難さが増している現状であります。ハローワークにおけるより精度の高いマッチングに努めるために

も、県内企業の魅力や情報発信への後押しと、働き方改革の推進、各企業への具体の雇用管理改善アドバイスをより一層進める必要があると感じています。

少子化と高齢化の同時進行は全国的にも、県内においても進行している状況の中、意欲のある高齢者が、多様な形で社会参画いただくためにも、シルバー人材センターの担う役割と期待は非常に大きいものがあります。新規事業の開拓や派遣事業の拡大、就業率の向上など、新たなニーズにご対応いただくべくご期待申し上げますと共に、会員の皆様と、事務局各位の健康そして安全を第一に、これからも地域の皆様か

ら信頼されるシルバー人材センターであっていただきたいと思います。県内全域で約三千七百  
人近い正会員の皆様、誠意と真心をもって日  
々の就業に当たっておられることに、改めて感  
謝と敬意を表しますとともに、シルバー人材セ  
ンター事業の益々のご発展と充実を祈念申し上  
げます。

鳥取労働局におきましても、県内で働く人全  
てが、職場や家庭、そして地域において活躍で  
きる社会の実現に向けて、職員一同全力で取り  
組んでまいりますので、一層のご指導とご支援  
をお願い申し上げます。



# シルバー人材センター

## 理事長の抱負

公益社団法人 鳥取市シルバー

人材センター



理事長 田中 勉

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに、平成最後の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

我が国においては、少子高齢化が進展し、長期の人口減少過程に入っています。政府は「生涯現役」の実現、及び七十歳まで就業できる方針を発表するなど、高齢者を労働人口に活用する施策を施しています。このような中、担い手であるシルバー人材センターの役割がますます、大きなものになっていきます。さて我が国は、人口が減少する一方、高齢化率が上がり、生産年齢人口が減少してきています。このことは、医療保険や年金等を支える一人当たりの負担を大きくし、社会保障制度そのものを危うくする要因となっています。

さらに、短時間就業や早朝、夕夜間就業、介護、

育児等の現役世代を支える分野における労働力不足が生じています。鳥取市シルバー人材センターは、これらの分野への就業機会の拡大に努めるとともに、補助制度の算定基礎となっている労働者派遣事業に鳥取市の財政支援を受けながら積極的に取り組んでまいります。

また何と云いまでも、会員が健康で生きがいのある生活を実現し、地域社会に貢献すると言う、目的を達成するために、鳥取市シルバー人材センターは、鳥取市をはじめとする行政機関と連携を図りながら、事業活動を実施し、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしてまいります。

終わりに、皆様にとって、明るく、希望に満ちた良い年になりますことを祈念して、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 米子広域シルバー

人材センター



理事長 仲村 一男

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様のご支持、行政や関係機関のご支持により高齢者の活躍の場が図られていること

を厚くお礼申し上げます。

当センターは昨年暮れに設立三十五周年記念式典を開催し、長年の事業運営が継続できていることを祝い、今後も安全就業に努め地域社会に貢献することを決意したところです。

さて、シルバー事業が発展していくためには先ず会員の増強が叫ばれているところですが、国では六十五歳への定年延長、その後の継続雇用の動きがあり、シルバー会員の加入も時代の流れとして厳しい状況が伺えます。

しかし、昨年の高齢社会白書によりますと、現役期に体得した専門性を活かしたり、新たな仕事に向かう等、定年後も社会性を持って働きたい高齢者が増えてきているとのことで、ちなみにシニアの就業率は近年上昇を続け六十五歳から六十九歳の層は約四十四%に達していますので、シルバー事業も多様な働き方のひとつとして会員拡大を進めていきたいと思えます。

本年度の事業運営は昨年度比で会員数・契約金額等の実績が微減していますが、会員の拡大と併せて就業開拓も行い就業率を高めて地域の需要に応えて行きたいと思えます。

本年も関係各位のご支援、ご指導を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を申し上げご挨拶いたします。

公益社団法人 倉吉市シルバー  
人材センター

理事長 山脇 誠



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、少子・高齢社会が進行していく中で労働力不足は益々深刻になっております。

国は労働力人口が減少している中で、外国人労働者の受け入れ拡大や高齢者により多くの就業機会を提供する方針を打ち出されました。そうした中、それぞれの地域で多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は益々重要になり、期待されているところです。

一方、シルバー人材センターの現状は会員数が増えなかなかならない課題をかかえており、当地においても同様で、契約金額も下降している状況にあります。まだまだ働く意欲のある高齢者は沢山おられると思いますが、増加策の妙案が見つからないのが現状です。猪突猛進とは言わないまでも、ひとつひとつ根気よく進めていければと思っております。高齢者にとって魅力ある、働きやすいセンターとして、さらに地域から愛され、利用者から信頼されるセンターを目指して、微力ではありますが取り組んでまいりたいと考えております。

この一年が、会員の皆様にとって明るい、希望に満ちた年でありますことを祈念して、新年の抱負といたします。

公益社団法人 境港市シルバー  
人材センター

理事長 高松 武美



新年あけましておめでとうございます。会員、役員の方には輝かしい平成最後の新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、少子化がどんどん進行し、生産年齢人口の減少が急速に進む中、意欲と身体的能力を備えた、高齢者が活躍することは産業や社会の活性化につながる大きな意味があります。このように、生涯現役社会を実現していくためにも、シルバー人材センターに向けて期待は一層大きなものとなっていることから、「自主・自立、共働・共助」というセンターの理念のもと、これからも引き続き地域に活力を与え、地域社会の福祉と発展に貢献していかなければなりません。

昨年、全国シルバー人材センター事業協会におかれましては、第二次会員100万人計画が策定されました。当市においては、今後の三年間に毎年七人弱の新規会員増を目指す必要があります。この達成には、かなり努力が必要と感じておりますが、先進地の状

況など視察・調査・研究し、あらゆる方策を以て、

新規加入会員の確保、退会者の抑制などにより、計画を達成する覚悟でございます。会員、役員が一丸となって、会員増に努力いたします。

また、新規事業の開拓、公共部門の新規開拓、派遣業務の新規開拓、民間利用者の継続利用の働きかけなど積極的にいき、事業の増を目指してまいります。

本年も会員の皆様、役員の方々に、素晴らしい年となりますよう祈念して、新年の抱負といたします。

公益社団法人 南部広域シルバー  
人材センター

理事長 有馬 均



明けましておめでとうございます。

二〇一九年の元号は、何と発表されるでしょうか。そんな思いを懐いてるのは私だけでしょか。

さて、当センターの新年度事業展開をするにあたっては、「安全就業の遵守」「生きがいの創出」「組織の拡大(会員増)」「地域貢献」を目標と考えています。

まず、就業するにあたり事故「ゼロ」を目標とします。重篤な事故は無かったものの、本年度も数件の事故が発生しました。「安全はすべてに優先する」

を会員、役職員皆が常に意識しなければなりません。当然のことながら「安全講習」「役員による安全パトロール」を実施しています。

次に、生きがい創出の一環として「女性のつどい」「他センターとの交流グラウンドゴルフ大会」「南部広域グラウンドゴルフ大会」「仲間と共に楽しむサークル活動」「伯耆地区会員の日帰り旅行」等を実施し好評を得ています。

地域貢献としては、奉仕作業を旧四町の会員が、それぞれに所在する町有施設の剪定作業、草取り、障子の張替えなどを実施し、南部町、伯耆町から感謝の言葉をいただいています。

次に組織の拡大（会員増）については、平成30年11月25日現在の会員数は三六六名で平成29年度末の三七一名に比べ五名減少しています。平成29年度末の粗入会率をみますと三・八%で全国・鳥取県の平均一・七%を上回っていますが、就業依頼も増えるなか、何としても会員をさらに増加させねばなりません。今取組んでいるのが一月から三月にかけて役員と職員がペアを組み知人、友人等を訪問し会員勧誘を実施するほか、会員による入会勧誘で入会していただいた場合には紹介していただいた会員に商品券を差し上げることとしています。

終わりに、今後とも行政、関係機関、地域住民の皆様にはご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人 智頭町シルバー

人材センター



理事長 小林 實夫

新年あけましておめでとうございます。

鳥取県シルバー連合会会員及び各センターの会員におかれましては、健やかに新春を迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年は大規模な災害が多発する記録的な年で、智頭町も七月の西日本豪雨で交通機関の通行止めにより陸の孤島となりました。県下の被災された地域には一刻も早い救済と心の平和をお祈りします。

さて、働き方改革が叫ばれる中であって、会員の皆様は単に自身の「健康維持」「生きがいの充実」だけではなく、地域社会に貢献している存在となっております。その役割は今後ますます大きくなることと予測されます。それだけに会員の皆様には地域を支える不可欠の存在であることを誇りとし、皆様に信頼される、親切・丁寧な就業に努めていただきたいと思います。

しかしながら、その担い手である会員は全国的に減少の一途をたどっており、このまま減少が続くと円滑な事業実施が困難となりますので、歯止めをかけることが喫緊の課題となっております。

当センターにおきましても「会員の拡大」に役員が全力で取り組む決意でございます。会員の皆様

も友人、知人の方に「入会」の声掛けをよろしくお願いいたします。

尚、シルバー事業を確保するため安全・適正就業推進委員を基に、安全を最優先とし、さらには会員の健康についての啓発活動も併せて行い、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会の貢献に努めます。

平成最後の飛躍の亥、役員一丸となって協力して頑張る所存でございます。

終わりに、関係各位のさらなるご支援ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。

公益社団法人 岩美町シルバー

人材センター



理事長 溝口 修

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

併せて鳥取県内のシルバー人材センター、連合会の会員、関係各位のご健勝を祈念いたします。岩美町シルバーは皆様のお陰で創立22周年を迎えています。

昨年、「第3次中期基本計画（H30～H33）」を策定し、初年度にあたる平成30年は契約額・就業率など目標達成の見込みで、皆様に御礼申し上げます。ふり返りますと昨年4月に、「岩美ふれ愛センタ

」が旧本庄小学校跡地にオープンし、当センターも入居しました。子育て世代、障害者、高齢者が互いにサポートしながら働く拠点として2年目を迎えています。

昨年の夏休みには同居の3団体による、初の合同イベント「岩美で一緒に遊ぼうふれあいランド」を開催し、シルバーセンターは「親子で木の椅子づくり」を行い、町民の皆さんとの友好が図れました。

急速な時代の転換期だからこそ、岩美町にとって大切な組織となるよう会員増、仕事の多様化などに重点をおきます。

また、事業運営にあたっては、役員と会員の連携のもと、「安全就業」「就業率向上」を肝に銘じて飛躍を目指します。

地道に皆様のお役に立つ事業展開（高齢者生活支援、現役世代支援など）を丁寧実践し「シルバーさん ありがとう」と言われるよう、暮らしのお手伝いの仕組みも改善する考えです。

また、「シルバー人材センター」への入会促進に向け、昨年11月より毎月1回「シルバー仕事相談会」をハローワーク相談会と同時開催していますので、気軽にお越しください。

本年も「人生100年時代」に向け、急増する高齢者に活躍の舞台を提供させて頂き、「健康づくり」「生き甲斐づくり」に繋がるよう邁進します。

皆様のご協力を受けますとともに、ご多幸を祈念し、ご挨拶と致します。

公益社団法人 湯梨浜町シルバー人材センター



理事長 小居 貞歳

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我が国は団塊の世代の高齢化が進みシルバー年代占める割合が急激に増加しています。また、人手不足が深刻化し高齢者の就業機会も増加していますが、シルバー人材センターの登録者は全国的に減少の一途です。湯梨浜町においても会員の減少は避けられないものほば横ばいでなかなか増えないのが現状です。全国シルバー連合で掲げる会員100万人構想は切実な目標ですが一筋縄ではいかない目標です。特に当センターのような小規模な組織では、会員の増加はもちろんですが、会員の高齢化に対応した後継者の専門的な人材養成が今後の大きな課題であります。

昨年は、会員の安全・適正就業を目指して研修を数回に分けて実施しました。会員には安全就業は会員意識の中に徐々に浸透した部分もあります。ただ、本年は人身事故が無かったものの、草刈・剪定作業における物損事故が複数発生し保険対応しました。こうした事実を踏まえ会員への研修や積極的な注意喚起を継続したいと考えております。

平成三十年度は公共業務の積極的な働きかけもあり、受注額も増額しましたが、民間の受注が足踏み状態でありました。平成三十一年は五月には元号も新たになることもあり、気持ち新たにそうした反省点も踏まえ、行政、地域の皆様の温かいご理解ご協力を感謝しながら各事業に取り組んでいく所存です。

この一年が、関係各位にとって明るく楽しい年になりますことをご祈念申し上げます。

公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター



理事長 田中 明

新年、明けましておめでとうございます。会員をはじめ皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃はシルバー人材センターの事業運営にご理解と、ご協力を賜りありがとうございます。昨年は猛暑に加え、度重なる台風により全国各地で豪雨災害等があり、大変な一年でした。

現在、少子高齢化が急速に進行したことによって、各業種とも人手不足が深刻となっており、この解決策の一つとして高齢者の労働力が期待されています。このため、シルバー組織では、全国会員100万人達成計画を展開中ですが、高齢者人口は増加しているも

の、入会を呼びかけても会員増加に繋がっていない厳しい状況があります。

今後、超高齢化社会に向かって健康寿命が叫ばれる中、シルバーは健康づくり、仲間づくり、地域貢献、さらには明るく楽しい充実した生活を求めて活動しています。今後も、安全第一を基本として自主、自立、共働共助の基本理念に基づき、会員の増強と就業機会の確保、健全な財政運営に努めてまいります。

関係各位の一層のご指導・ご支援をお願いすると共に、皆様のご健勝とご多幸をお祈りしてご挨拶いたします。



公益社団法人 北栄町シルバー  
人材センター

理事長 日置 勝彦

明けましておめでとうございます。

昨年中は、会員の皆様のご尽力をはじめ、町民利用者や町当局、関係機関の皆様のご協力をいただき、順調に北栄町シルバー人材センターの運営を進めることができました。ありがとうございます。

さて、今年の最大目標は、会員の拡大に置きたいと思えます。当センターでも会員の高齢化が進んでおり、新会員の加入が喫緊の課題となっています。社会全体の人材不足から定年延長とか退職後の継続

雇用が増加して、シルバー人材センターへの関心も薄く、加入者も減少傾向にあります。

会員拡大は全国的な課題となっていますが、当センターにおいてもお客様の要望に応えるためには、新会員の加入を全力で取り組まなければなりません。

その為には会員一人ひとりが会員拡大を自らの課題としていただき、口コミで会員の獲得に取り組んでいただきますようお願いいたします。

新加入を勧められた方には、その努力に報いる方法も考えたいと思います。

同時に、就業機会の拡大は会員拡大と切り離せない課題ですので、引き続き就業開拓推進員を中心に、請負はもとより派遣先の開拓も合わせて努力してまいります。

安全適正就業については、いつの機会でもお話していますが、仕事場への往復と剪定作業が、命に係わる重篤事故を起こしやすい最大の要因です。

昨年は、数件の危ない事故がありました。再び同じような事故を起こさないためには、本人はもとより関係者も十分注意しあって安全就業優良団体の名に恥じないように、安全防具も着用して作業するよう強く要請いたします。

この一年が、北栄町シルバー人材センター会員並びにご家族にとって、明るく幸せな年になりますように心からお祈り申し上げ、年の初めに当たった課題と抱負いたします。

公益社団法人 大山町シルバー  
人材センター



理事長 西川 昌康

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

急速な高齢化の中で、昨今の雇用情勢は人手不足感が高い水準にあり、シルバーに対する期待が一層大きくなっているところです。

会員の拡大、地域・会員のニーズに合った就労先の開拓、更にはシルバーに対するイメージ転換を図る良い機会ではないでしょうか。

ニーズに合う就労先として、介護・福祉事業、空き家対策の開拓は、地域に根差した注視すべき事業と思っております。

会員の拡大は、百万人会員達成計画を基本に組織を挙げて推進する中で、女性会員の拡大を図り、退会会員の抑止に向けた対策に取組む必要があると思っております。一つには会員が集い、拠り所とするサロンを設置・運営し、そこを起業の拠点にすることはできないかと思うところです。

シルバーに対するイメージの転換を図ることも必要です。地域における唯一の「高齢者の生きがいとしての就労先」ではなくなってきたことを認識すべきです。

また、地域の各種活動を周知するためマスコミ、公的団体等を活用した広報が重要不可欠と想っています。

最後ですが、就労時の重篤事故などは、シルバーの信用を失墜する最たるものとして認識すべきです。無事故で、地域に根差したシルバーの育成に尽力したいと思っています。

皆様のご健勝・ご活躍を祈念致します。合わせて、新年の抱負といたします。



一般社団法人 八頭町シルバー  
人材センター  
理事長 衣笠 春壽

新年あけましておめでとうございます。県内シルバー会員の皆様、関係各位にも平成最後の新春をつつがなく迎えられたこととお慶び申し上げます。

八頭シルバーも独立、法人化し、この春で十一年目を迎えます。楽々とも云えず、さりとて困難を絶えず抱えているわけでもなく、つつがなく平成を終え、新しい元号の始まりを迎える春となりました。国際情勢や国内の政治についてシルバー世代として思いを云えば際限のないことでもあります。また、平成三十年をふり返る感慨は高齢も近いシルバー世代であれば何とも語り尽くせない：感動さえ：涙も喜びもあふれるようであります。

さて、昨今の世界、社会の混迷、不安・不信に加え、地球環境、自然環境のとつもなく厳しい荒れ模様。地震、台風、大水害、地球温暖化による異常気象が様々に。昨年には災害級の猛暑もあつて被害、影響を受けられた会員の方々には改めて心から励ましのエールを送るところであります。

現在八頭町は、人口一万七千人、高齢化率三十三%、後期高齢化率十八%、少子高齢化社会での課題を多く抱えております。八頭町シルバー人材センター、わずか百五十人に満たない会員への期待が益々高まってくる中にあります。会員数の増加も見込めないまま、今年も異常気象の恐れがあり、熱中症の深刻さもあります。新春を迎えて新しい元号を迎え、改めて事故のない安全・安心なシルバーの活動、地域貢献、生きがいづくりの推進を目指しましょう。穏やかに会員の連携融和を図り、ぜひ悲観論を吹き飛ばしましょう。

皆様の元気で健康なご活躍をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



江府町シルバー  
人材センター



理事長 山本 信男

新年あけましておめでとうございます。

県シルバー連合会、並びに会員の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

江府町シルバー人材センターは設立以来基本理念として「自主、自立、共働、共助」を柱としております。昨年より請負業務の他、派遣業務を県の事業関係者の方々にお世話になって幅広く仕事が出るようになり、大変嬉しく思うところです。

しかしながら、会員の高齢化と定年延長のため、新規入会者が少なく仕事のピーク時には、人手不足となる事もあり、会員ひとりひとりが地域に声をかけ会員拡大を推進する「声かけ運動」を実施し、「小さくても輝くシルバー人材センター」、「地域の皆様から必要と重宝されるシルバー人材センター」、「会員同士の信頼関係を尊ぶシルバー人材センター」を礎として活動を進めてまいります。

これからの農家は、核家族と高齢化により様々な作業を依頼されるようになりつつあるところですが、そのため会員拡大は急務であると思えます。会員の皆さんには各種技能講習に積極的に参加し技能向上をはかり、多様なニーズに対応していきたいと思

ます。

センターは、江府町社会福祉協議会のボランティアセンターに参入して三年目となり、やっと安定して来たかと思うところで。町民の皆さんに親しまれるシルバー人材センターとして定着して行きたいと思えます。

今後とも皆様に一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

日南町シルバー

人材センター



会長 池岡 利行

新年あけましておめでとうございます。

各シルバー人材センターの会員の皆様、関係各位の皆様にとりまして素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、全国的に猛暑が続きました。変な年でした。あまりの暑さに作業を途中で打ち切って帰ってしまった日や、休憩時間を延ばしたり、休憩回数を増やすなど、色々工夫をしながら作業をしました。そんな中会員の方々の日頃の心掛けと努力によって無事に全ての作業を終了することが出来た事は何よりの喜びでした。

また、仕事の回数を重ねる毎に、技術の向上や作

業能率の向上も、目に見えて上がって来たと感じています。

お陰さまで、年々受注件数も増加しており、町内にシルバー人材センターの存在もアピール出来てきていると感じています。これから高齢化社会が増々進む中、地域の要望に答えられるシルバー人材センターにするため、会員と一緒に頑張って行きたいと考えています。

この一年が関係者の皆様にとって明るい年になりますことを祈念し、また会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし新年のあいさつとします。

三朝町シルバー

人材センター



理事長 田渕 忠昭

新年明けましておめでとうございます。

本年は、五月に年号が改まるとの事、いろいろと変化していく年になると思われれます。昨年は異常気象により各地で甚大な災害が多くありました。当センターでは暑さ対策として、午前中で作業を終了するなど、会員の健康管理に努めてまいりました。多くの作業の進捗状況が思わしくいかないなど心配もありましたが、会員の皆様の努力により大きな事故もなく終えることができました。本年も、昨年同様厳しい天候の変化が予想されます。会員の皆様の健

康管理に十分な注意になります。

会員の高齢化が進み戦力等厳しい状況であります。今年も会員数増加にあまり期待が持てませんが、地域に貢献できるシルバー人材センターであるよう願う昨今であります。

シルバー人材センターに依頼される作業は、町民の高齢化によって依頼者自身が行っていた作業を依頼されるケースが多くなってきております。少数精鋭ではありますが、生きがいと健康維持、会員相互の連携をはかりながら取り組んでまいりたいと思えます。

本年も当センターでは、会員の募集に力を入れ、活力あるセンターを目指して、安全、適正就業、事故ゼロへ向け、元気で頑張ってください。終わりになりましたが、各シルバー人材センター様のご発展を祈念し私の新年のあいさつといたします。



平成三十年度事業実施状況

平成三十年度 定時総会

平成三十年六月二十日（水）倉吉市にて定時総会が開催され、全ての議案が原案どおり承認されました。

- 第一号議案 平成二十九年度事業報告承認の件
- 第二号議案 平成二十九年度決算報告承認の件「監査報告」
- 第三号議案 理事選任の件



2018/06/20

第一回理事会

平成三十年六月五日（火）倉吉市において開催。審議された議案は次のとおりでいずれも原案のとおり承認されました。

- 第一号議案 平成三十年度定時総会について
- 第二号議案 平成二十九年度収支補正予算書について

第三号議案 平成二十九年度事業実施報告書及び収支計算書について「監査報告」

第四号議案 平成三十年度収支補正予算書について

第五号議案 理事選任について

第二回理事会

平成三十年九月十四日（金）倉吉市にて開催し原案通り承認されました。

第一号議案 平成三十年度収支補正予算書について

第二号議案 シルバー人材センター等労働者派遣事業実施に関する協定書について

第三号議案 委任契約書について



2018/09/14

安全・適正就業推進委員会

六月八日（金）倉吉市において開催し原案通り承認されました。（出席者十三名）

- 一 平成三十年度安全・適正就業推進事業基本計画について
- 二 平成二十九年度事故（傷害・賠償）発生状況及び安全・適正就業パトロール実施状況について
- 三 平成三十年度安全・適正就業対策実施計画について
- 四 平成三十年度シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間実施要領について
- 五 「安全運転のために」について
- 六 事故報告方法の改正について



2018/09/14



2018/06/08

## 安全・適正就業研修会

七月九日（月）各シルバー人材センター役員・  
会員七十四名が参加。



最初に安全就業標語募集に応募された二百三十五編の中から最優秀賞一編・優秀賞五編・入選五編を表彰。  
最優秀賞作品は

「高齢者慣れた仕事も気を抜くな」

続いて事例発表（公社）北栄町シルバー人材センター理事長 日置勝彦氏「安全就業の取組について」、事例発表（公社）鳥取市シルバー人材センター事務局長 山本雅宏氏「安全・適正就業について」、講話独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター前院長 下田光太郎氏「高齢者の健康管理」、事例発表

（公社）境港市シルバー人材センター安全・適正就業推進員草刈班班長 石井勝彦氏「草刈実施状況とその心構え」の発表があり最後に全員で「安全・適正就業宣言」を唱和して終了しました。

## 安全就業講習会

草刈作業中の飛び石による賠償事故が散見されることから作業中の事故防止のための講習会を実施。



東部地区11月9日（金）参加者12名



中部地区 十月二十九日（月）参加者十二名



西部地区 十一月五日（月）参加者二十名



## 第一回理事長・会長、事務局長会議

六月二十七日（水）倉吉市にて開催。  
全国事務局長会議伝達。

## 第二回理事長・会長、事務局長会議

十月十日（水）倉吉市にて開催。  
一 全国事務局長会議伝達  
二 平成三十年経験交流大会について  
三 ハローワークにおけるシルバー事業説明会について



## 鳥取県経験交流大会

十一月十二日（月）県内シルバー人材センター役員・会員七十八名の参加により開催。

基調講演は（公社）滋賀県シルバー人材センター連合会会長 平田正男氏「シルバー人材センターの魅力」。

講話として（公社）米子広域シルバー人材センター理事長 仲村一男氏「理事長就任・もうすぐ一年」、（公社）境港市シルバー人材センター事務局長 門脇俊史氏「シルバー人材センター事務局長に就任し



て感じることに、（公社）湯梨浜町シルバー人材センター事務局長 米増誠氏「事務局長の仕事」、（公社）琴浦町シルバー人材センター事務局長 藤井弘美氏「事務局長に就任して思うこと」の発表がありました。

## シルバー人材センター事業 普及啓発促進月間

十月二十日（土）を「シルバーの日」として日吉津村スーパー前にて啓発用ポスター、リーフレット等啓発用品を配付PR活動を実施しました。





## 平成30年度 高齢者活躍人材育成事業 技能講習



県内の元気な高齢者に、人手不足分野・現役世代を支える分野の派遣、請負、職業紹介の仕事に必要な能力を身に付けて就業していただくために、各地域のシルバー人材センターの協力を得て技能講習を実施しました。

開講順	開催地	講習名	日程	日数	定員	受講者	修了者
1	米子	公園施設等管理講習	5月15日(火)	1	10	11	11
2	倉吉	集合住宅清掃講習	6月21日(木)～22日(金)	2	10	13	11
3	湯梨浜	農作業地管理補助講習	7月3日(火)	1	10	15	15
4	米子	農作業地管理補助講習	7月6日(金)	1	10	14	14
5	米子	子育て支援講習	7月26日(木)～27日(金)	2	10	9	9
6	鳥取	調理補助スタッフ講習	8月1日(水)～3日(金)	3	10	11	11
7	米子	公共・企業施設清掃講習	8月20日(月)～21日(火)	2	10	11	7
8	南部	果樹栽培補助講習	8月30日(木)～31日(金)	2	20	23	23
9	鳥取	子育て支援講習	9月5日(水)、7日(金)	2	10	9	6
10	日吉津	調理補助スタッフ講習	9月11日(火)～13日(木)	3	10	9	7
11	米子	介護補助講習	9月19日(水)～21日(金)	3	8	8	6
12	鳥取	集合住宅清掃講習	9月27日(木)～28日(金)	2	10	8	7
13	倉吉	介護補助講習	10月3日(水)～5日(金)	3	8	5	5
14	米子	介護介助送迎運転講習	10月17日(水)～18日(木)	2	8	9	9
15	鳥取	介護補助講習	10月24日(水)～26日(金)	3	8	10	9
16	鳥取	農作業地管理補助講習	10月30日(火)	1	10	11	11
17	鳥取	店舗スタッフ補助講習	11月9日(金)	1	10	9	9
18	米子	店舗スタッフ補助講習	11月14日(水)～15日(木)	2	10	7	7
19	鳥取	介護介助送迎運転講習	11月20日(火)～21日(水)	2	8	11	11
20	南部	果樹栽培補助(柿)講習	12月19日(水)	1	10	12	12
合計				39	200	215	200





公園施設等管理講習・米子



集合住宅清掃講習・倉吉



農作業地管理補助講習・湯梨浜



農作業地管理補助講習・米子



子育て支援講習・米子



調理補助スタッフ講習・鳥取



公共・企業施設清掃講習・米子



果樹栽培補助講習・南部



子育て支援講習・鳥取



調理補助スタッフ講習・日吉津



介護補助講習・米子



集合住宅清掃講習・鳥取



介護補助講習・倉吉



介護介助送迎運転講習・米子



介護補助講習・鳥取



農作業地管理補助講習・鳥取



店舗スタッフ補助講習・鳥取



店舗スタッフ補助講習・米子



介護介助送迎運転講習・鳥取



果樹栽培補助(柿)講習・南部



# シルバー人材センターの紹介

## 公益社団法人 倉吉市シルバー人材センター

事務局長 橋本 央

倉吉市は、鳥取県の中部に位置し、四つの温泉地に囲まれた人口五万弱の町となります。当市中心部には、城下町としての風情漂う白壁土蔵群や赤瓦等があり、人気の観光スポットとなっております。

倉吉市シルバー人材センターは、平成二十九年年度末には会員数三百九人（前年対比九十六・五％）、契約金額は一億八千四百三十三万六千九百六十六円（前年対比九二・四％）と共に前年より減少致しました。また、シルバークリア事業も順調に推移してまいりましたが、契約金額二千五百六十八万四千六百九十九円（前年対比九七・八％）と二ポイント減少致しま



定時総会（H30年 5月17日）倉吉未来中心



奉仕活動開始



奉仕活動（草刈り）



奉仕活動（草取り）

した。会員数の減少が繁忙期の受注に対応しきれず、両契約金額の減少に繋がっております。企業の退職年齢の引き上げや雇用延長などの影響が新入会員数の減少と考えられますが、会員増加策を当センターの一番の課題と考え、「仕事説明会」の開催や、会員の口コミ運動など力を入れております。

当センターは、倉吉市が介護予防事業の一環として、六十五歳以上の方がボランティア活動を通じて社会参加及び地域貢

献することによって自らの健康増進や介護予防を図り、いつまでも地域でいきいきとした暮らしができることを目的とした事業「くらしよし介護ボランティア事業」の管理機関として受託しております。ボランティアを希望する六十五歳以上の市民を対象とする事業であり、シルバーの就業スタイルとは別のものとなりますが、会員拡大・就業拡大に繋がるのではと考え、サービスの提供を続けていきたいと考えます。

シルバー事業の基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、会員の安全・適正就業と公平な就業機会の提供を推進するとともに、会員及び役員が一丸となり、就業機会の開拓や会員の確保を図りながら、事業の拡大に向けた取り組みを積極的に展開し、地域社会から信頼され、地域社会に貢献するセンターを目指してまいります。

# シルバー人材センターの紹介

## 公益社団法人 南部広域シルバー人材センター

専務理事・事務局長 長尾 健治

### きずなを深める親睦事業

南部広域シルバー人材センターは南部町、伯耆町を就業エリアとするセンターでその概要は「表1」のとおりです。「表1」中の会員数、契約金額は県内のセンターでは3番目です。母体である2町の人口が2万2千人程度であることを考えるとこの数字は会員の皆さんのがんばりのたまものと感謝しています。

契約金額1億五千万円の内、1億2千万円が配分金です。会員1人あたり、平均で年間約33万円になります。

お金もさることながら、理事長のあいさつにもありますとおり、本センターで力を入れて取り組んでいるのは「安全」、「生きがい」、「会員拡大」、「地域貢献」です。そのうち特に就業を通じた「生きがいづくり」は重要と考えています。

会員の皆さんが「シルバーで仕事をすることは楽しい」と言っていただけのように就業班ごとの一日研修、女性だけの一日旅行、男の料理教室、グラウンドゴルフ大会の開催など、一見するとシルバーの就業とは関係ないような事業をどんどん行っています。実はこのことが会員の皆さんのきずなを強め、「楽

しいシルバーづくり」に通じる大切な要素だと考えています。  
南部広域シルバー人材センターは今後とも、会員の皆さんや役員が手を携えて「楽しいシルバー作り」に取り組んでまいります。

【表1】センターの概要（平成29年度末実績）

会員数（人）	371
粗入会率（%）	3.8
就業率（%）	91.4
就業延べ人数（人日）	31,543
受注件数（件）	2,805
契約金額（千円）	150,606
平均年齢（歳）	71.5



女性のつどいブドウ食べ放題（出雲市8月開催）

会員の広場

わたしの楽しい日々



公益社団法人  
鳥取市シルバー人材センター

花井 榮子

結婚して夫の勤務の鳥取に移り、夫と同じ職場で働いて四十二年間、定年までの仕事、二人の子を育てました。二人の息子も独立しており、すぐにシルバー人材センターに入会しました。役割を頂いたのは主に「子育て支援」の仕事でした。昨年十年勤続の表彰を頂き感謝いたしております。

初めてのお子様は生後二カ月半の赤ちゃん、ご主人の転勤のため一歳でお別れでした。今はもう四年生、奥様とは今にいたるまでお手紙でのおつき合いです。幼いときにお世話をして、今は中学生というお子様もいます。ふりかえれば懐かしい思い出ばかりです。

今お世話をしているのは三歳の男の子さん、生後二ヶ月からで、まるで私の曾孫みたいです。病気をさせないよう、問題をおこさないよう、毎日が祈る思いで過ごしています。

この頃は新しい言葉を覚え、いろいろな物の知識

が豊富になって、成長の早さは驚きの連続です。この前は遊んでいて急に私の背中にもたれて「おばちゃんだいすき」と言ってくれました。嬉しくて、私も「おばちゃんもだいすき」と言っておかしい手を握ったことでした。もう一人言葉の話せない子どもさんのお世話があります。名前を呼んであげたり、声をかけたりします。すると、笑顔を見せてくれるのです。とてもかわいいです。行くたびに癒されます。

日々、気をつけていることは、笑顔を忘れないこと、怪我をさせないように目を離さないこと、いつも子ども目線に合わせて行動すること、無理のないかたちで躰をしてあげること、などです。



私の個人的な活動は、鳥取市健康づくり地区推進員として十一年、介護予防と地域の皆さんとのふれあいを目的でつくられたしゅんしゅん

さん体操普及員として十二年やっております。「毎週土曜日」仕事に役立つことにもなる、ベビーシッターの資格、介護予防健康アドバイザーの資格を通信教育で取得しました。

私の楽しみは、「お人形づくり」、それから「菊水流扇舞」を習っています。



私が自分に言い聞かせているのは「私自身の向上」と言うこと、そしてそれは前進と言うこと、頑張っています。

会員の広場

シルバー人材センター  
知るbar(横棒)人材センター



公益社団法人  
智頭町シルバー人材センター  
古谷 祥一郎

私事ですが、家族構成は、再婚した家内と7歳になる双子の女の子がいます。

現在私は66歳です。60歳の時に定年で財団職員を退職しました。辞めたときに何をしようかなと思ったとき、近所の人達の影響もあり農業に関心を持ちました。

当初、田圃、畑は、さほど広くはなかったのですが、無肥料、無農薬で栽培するものだから、草刈が忙しいこと、最初のころは残留肥料があった為それなりに収穫があったのですが、年が経つにつれて収量は減っていました。当初は自給自足ができる様にと目標はあったのですが、



自然相手ですから、毎年気象条件も違い、農業の難しさを痛感しています。それでもと思い試行錯誤を重ねながら現在に至っています。

農作業も忙しい時期と暇な時期があり収入には程遠く、それもあって今年の9月、シルバー人材センターを訪ねました。何も解らないものだから、とりあえず出来ることはやらせて頂くと思いい、断らずに請けさせて頂きました。まだ、二ヶ月程ですが、色々な仕事をやらせて頂いています。

色々な方たちと接してみると、その人の職歴、特技など経験豊かな時を過ごして来られていて、年を取っても就労意欲をもっておられるのだなと感心させられます。受け皿となっているシルバー人材センターは、私にとって、知るbar(横棒)人材センターだと感じています。これまでの経験を振り返ったり、働ける時間や体力など、これからの将来を考えたりする境目(横棒)ではないかなと思います。人の為に働くのか、自分の為に働くのか、どちらであっても良いのではないのでしょうか。元気で人前に出て色々な出会いがあるだけでも生甲斐だと思います。



# 趣味のひととき



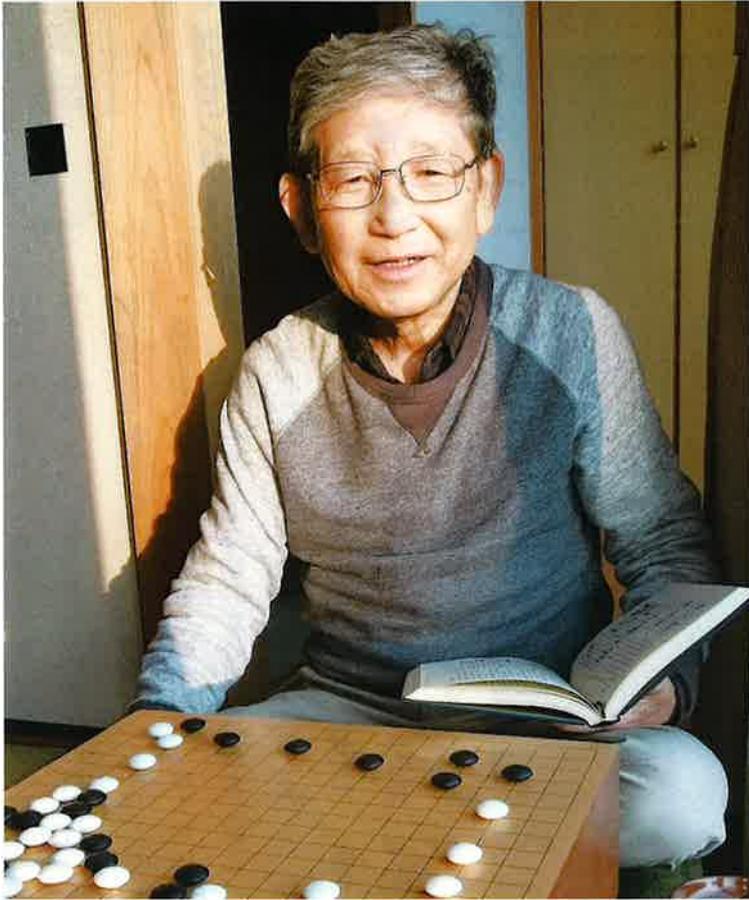
公益社団法人  
米子広域シルバー人材センター

八尾 俊一

私の趣味は囲碁です。「あなたの一番好きなものは何ですか。」と聞かれれば躊躇なく「囲碁です。」と答えます。「どれ位打たれますか。」と問われれば「まあまあです。」と言うことにしています。

二十歳の時に叔父から貰った一冊の入門書が始まりでした。当時、世話になっていた叔父の家は毎夜6〜7人の碁打ちが集まり楽しんでいました。碁書でルールなどを覚えながら、傍から客の打つのをみて覚えていったものです。打ち始めた頃は、来る日も来る日も酷く打ち負かされ、そのたびに浴びせられた厳しい言葉で盤上に涙を落した記憶は二度や三度ではありません。「必ずアンタよりは強くなってる。」と歯を食いしばった頃は、私も若かった、懐かしい思い出です。

少しは打てるようになった三十歳の頃の私は非常に長考をするタイプでした。その頃よくお世話になった碁会所の奥さんに「俊ちゃん、一升瓶からは一升の水しかでんよ。」と諭されたことがあります。この言葉はそ



の後私の心から消えることなく、人生のいろいろな場面で思い出しています。

平素から何事によらず努力を惜しまず、人としての器を大きくすることが肝要だと知らされました。

定年を機に、私の夢であった縁側のある家を持つことができました。そして、後期高齢者の仲間入りをした今、その縁側に碁盤を出し、碁書を読み、石を並べる穏やかな日々を手に入れることができました。

この素晴らしいものは、ルールは少なく簡単に門をくぐることはできませんが、その先には到底知るほどの難しい広さ、奥の深さを持っています。だから、興味が尽きないのです。

この素晴らしい囲碁を若い人にも繋ぎたいと思い、

その活動を行ったりもしております。今後も棋力向上を目指して精進を怠らず有意義な毎日をご過ごしたいと思っております。



# 趣味のひととき

## 滝の魅力



公益社団法人  
琴浦町シルバー人材センター

保田博美

環境庁の調査によれば、落差5m以上の滝は、全国に二四八八あるという。それだけ日本は、滝の多い国なのだ。滝の魅力を一言でいえば「癒し」であり、滝を見ていると、世の中の喧騒を忘れ、無我の境地になれる。元々私は、自然が好きで、自然の中に滝があり、滝を見ることは自然を見ることである。滝にも色々な形があり、直瀑、段瀑、分岐瀑、溪流瀑、潜流瀑とさまざまである。私が滝を見て楽しむのは、滝の水量、落差、姿形、滝壺等滝一つ一つに個性があり、その滝がどのようにして出来たのか想いをめぐらすと我を忘れる。

それと、滝へたどり着くまでのアプローチ。周りの風景を楽しみながら、急坂を登ったり、斜面を駆け下りたり、自然と一体になる事が出来る。滝が近くに連れ、水音が徐々に大きくなりどんな滝が現れるだろうと想像すると、わくわくしてくる。滝へのアプローチも様々で、道路脇から見える滝もあれば、何時間もかけて辿り着く滝もある。

又、平坦な道もあれば、梯子を登っていく危険な道もある。しかし、時間をかけ苦労して辿り着くほど、ことのほか思い入れが大きいように思える。

そういった意味で、私がこれまで見て回った滝の中で、一番印象深いのは、福島県の松枝岐村にある

三条の滝である。この滝は、尾瀬ヶ原の全水系を集めた只見川の本流が一気に流れ落ちる豪瀑である。水量は、日本一ともいわれ、華厳の滝の倍くらいはありそうな滝だ。落差、水量、規模と全てが、勇壮で、この滝を往復するのに、丸一日費やした。日本の滝は、権現滝、不動滝と言ったように滝を信仰の対象にしていることが多い。又、和歌山県的那智の滝のように滝それ自体が、神として崇められている滝もある。滝に近づき、目のあたりにすれば、思わず、手を合わせてしまいたくなる。

昨今、この滝も色々な災害で、少しずつ失われつつあるが、せめて人的災害だけは無くし、この素晴らしい自然だけは、残して欲しい。



インクラの滝 (北海道)



三条の滝 (福島県)



不動七重の滝 (奈良県)



称名滝 (富山県)



安の滝 (秋田県)

# 講習会に参加して

## 集合住宅清掃講習



公益社団法人  
倉吉市シルバー人材センター

明里 英和

平成三十年六月二十一日と二十二日の二日間にわたり開催された、集合住宅清掃講習会に参加しました。



シルバー人材センターに入会して二年目となる私は、日頃は我が家の農作業に従事している中で、少しでも機会があれば、自分でできる事はやってみたいという思いで入会し、主に草刈り作業等に従事してきました。

この度の清掃講習は日頃自宅を清掃している中で、清掃の基本・こつ・やり方等を身に付けたく、今後にも生かして役立つと思ひ受講しました。清掃講習を

のものは勿論、勉強になりましたが、受講された方々とも情報交換ができ、とても有意義でした。

年齢が七十歳近くともなると、個人差もありますが、若い頃と違って体力が劣っていく傾向になりますが、私は毎日その日にやる事を目標に立てて、有意義に過ごすよう心掛けています。

昨今、以前と違って多様化し、清掃すべき対象物によって、洗剤も多くの種類があり、その使い方等について認識が深まり、今後の日常生活とか、シルバー人材センターの清掃作業等に役立てたいと先ず、自宅の清掃からできる事から実行しているところで受講してほんとうに良かったと思うとともに、このような講習会の機会を与えて頂いた鳥取県シルバー人材センター連合会の皆様に感謝申し上げます。

## 調理補助スタッフ講習



公益社団法人  
智頭町シルバー人材センター

中島 総子

平成三十年度調理補助スタッフ講習を受講させていただきました。ありがたいがとうございました。

広報で知り嚙下困難食を知りたいなど、シルバー人材センターへ連絡したら、会員でないといけないとのこと、即入会しました。

講師の先生は、福田節子先生です。憧れの先生に習えるなんて、なんとラッキーと思ひました。

一日目は減塩食・食品衛生について・調理の基本。二日目は生活習慣病の食事と対策。三日目は嚙下困難な方への食事・要点と調理の仕方について、パワ

ーポイントで詳しく習いました。

一生で約八万回食べると言われている食事について、食べたもので約四リットルの血ができて、元気にもなり、食べ方を間違えれば病気にもなりま

す。子供はアレルギー・鬱にならぬよう、学力アップの食事、生活習慣病にならぬよう、高齢者は要介護にならぬよう、もっと勉強して皆様のお役に立ちたいと思います。

平成二十九年、加藤俊徳先生の講演会で、『七十歳過ぎてても脳は発達します。』と言われました。よっしゃー！あと十年もあるし、まだ頑張れる！と思ひ、調理師にも挑戦して、平成三十年年末に免許を取得することができました。

調理師免許取得のための講習会は偶然、福田先生が栄養学の講師で、おかげさまで合格することができました。先生に感謝しております。



また講習会があれば、受講したいと思ひます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。ありがとうございます。ございました。

介護補助講習



秋鹿 一

公益社団法人  
米子広域シルバー人材センター

平成三十年六月に定年退職し、八月にシルバー人材センターに入会しました。

元々営業職が長く技能がないため、何か専門分野の知識・技能を身に付けたいと考えていた時に、九月十九日～二十一日の三日間・米子食品会館で開催の、介護補助講習の案内がありました。

まったくの未経験の分野ではありましたが、自分の周りでも話題になることが多く、この機会に勉強させていたただこうと受講しました。

初日に紹介されたお二人の講師は、実際に第一線



で、介護施設で活躍されている方々でした。難しい専門用語など知らない自分がついて行けるのか不安になりましたが、介護の現状について、いろいろな角度から熱心にお話をされ、近い将来の自分のことでもあり、目が覚める思いで聞き入りまし

た。

特に人手不足対策としての、元気なシニア世代の介護補助参加や、介護が不要な健康寿命を延ばす事などを伺うと、日ごろの節制と、体力維持が大事だと感じました。

講義に続いての実技講習では、実際に車椅子などの介護用品を使い、介護する側と介護を受ける側の、両方を体験させてもらい、実際の介護の大変さを実感しました。

介護の基本は、介護を受ける側の気持ちを考えて会話すること、行動することが大切だと教えていただきました。

短期間でしたが内容の充実した講習会で、講師の先生方の介護にかける熱い思いが伝わり、参加して良かったです。今後は健康寿命を延ばし、介護のお手伝い出来る、元気なシニアを目指したいと思えます。

講習会を開催していただいた鳥取県シルバー人材センター連合会と、担当者の皆様に厚くお礼申し上げます。

店舗スタッフ補助講習



田中 美恵子

公益社団法人  
鳥取市シルバー人材センター

私は平成三十年十一月九日、店舗スタッフ補助講習を受講して、時代の変化を知ることができ、とても良かったです。

講師の先生は、岡山市にある大学の准教授という肩書きの方でしたが、鳥取市出身で、鳥取銀行に十

五年間勤務された経歴と、年齢も私の息子と同年代でしたので、とても親しみを感じました。

そして、終始おもしろおかしくお話しされ、笑いの絶えない楽しい講習でした。

内容は、一部・小売業の知識と現状。二部・売れる売り場づくりとは。三部・販売員の心構えとホスピタリティ。四部・接客力を高める(コミュニケーション、見だしなど)の四部構成でした。

その中で聞きなれないカタカナ用語が沢山出てきてびっくりしました。

例えばオムニチャネル、シヨールミングとウェブルーミングなどです。

また最近では、テレビでもキャッシュレス決済の事を何回か目にし、時代の流れを感じます。

レジも手動レジからセルフ精算レジ、そしてセルフレジへと変化してきています。

それから、鳥取でもイートインスペースのあるスーパーマーケットや、コンビニエンスストアもあります。



ます。

労働力の減少のため、ロボットとAIを導入している企業もある中、やはり、接客業は接客力が重要なので、コンシェルジュを配置し、更なるホスピタリティが大切になってくる事を学ばせて頂きました。

ありがとうございました。

# 公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社)鳥取市シルバー人材センター	田中 勉	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社)米子広域シルバー人材センター	仲村 一男	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	山脇 誠	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社)境港市シルバー人材センター	高松 武美	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社)南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社)智頭町シルバー人材センター	小林 寛夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	溝口 修	681-0065	岩美郡岩美町新井269	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社)湯梨浜町シルバー人材センター	小居 貞歳	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	西川 昌康	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春壽	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	池岡 利行	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



新年明けまして

おめでとう

ございます

## 表紙のことば

### 鳥取砂丘

東西16キロ、南北2・4キロに広がる日本最大級の砂丘。

「鳥取といえど？」「砂丘」と答える人が多い大人気の観光地の一つです。

鳥取砂丘最高峰の「馬の背」、現れては消える「オアシス」「風紋」、「ラクダ乗り」等、魅力いっぱいです。

いろいろなお姿を見せる砂丘、みなさんは鳥取砂丘の何処がお気に入りでしょうか？

## あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第33号の発行を迎えることが出来ました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

2019年は、4月30日で平成の幕が閉じられ、5月から新元号になる歴史的な年となりました。平成30年は、「災」の一字で表される災害の多い年となりましたが、みなさんはどんな年でしたでしょうか？

新元号を迎える2019年は、みなさんにとって、より良い年となりますようにお祈りいたします。

会報 鳥取 第33号  
平成31年1月発行

発行：公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会  
所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76  
電話：0859-37-2531  
FAX：0859-37-2537